

【南っ子のくらし(生活の約束)についての共通指導事項】

○昼休みの開始について

- ・チャイムが鳴るまでは、教室で歯磨きや読書などをして待つ。チャイムが鳴ってから昼休み開始。

○各クラスの昼休みのボール使用について

- ・担任の私物は使用しない。基本的に各クラスに配ばれている2つのボールを使用する。
※一階中央廊下のたな(トロフィーのショーケースの隣)の物は使用してよいが、使用するときは担任に申し出る。(バットは使用禁止)
※使用する個数については、特定のクラスが一度に多く使用することがないようにする。(トラブルがあったときは、一クラスで使用限度を、体育委員会等で子どもが検討→周知。)
※体育倉庫の道具は、原則体育の授業中に扱うようにする。

○児童玄関前・体育館周辺の行動について

- ・コンクリート部分、スロープ、花壇周辺で遊んだり飛び降りたり、なわとびをしたりしない。(けがの未然防止、植物を大切にする視点)

○外遊びについて

- ・大・小運動場のみで遊ぶ。
- ・プール周辺、コンクリート部分、玄関前、温室周辺では遊ばない。
- ・運動場の状態が悪くて外が晴れている時も、同様にプール周辺等では遊ばない。
- ・理科の観察等で立ち入る必要がある場合は、担任に申し出る。

※児童に指導する際の理由付けとしては、「コンクリート部分は車の出入りが多いこと」「運動場以外で遊んでいて、大きなけがをした児童がいたこと」「プール周辺は先生の目が届かないこと」等が考えられる。

- ・鉄棒の近くでタイヤには乗らない。
- ・外で遊ぶときは帽子を着用する。私物の帽子がない時は赤白帽子を着用する。

※かぶっていない児童を見た先生がその場で指導を行い、担任へ報告する。

※児童に指導の説明をする際

→安全面…転倒したときの頭部の保護 健康面…熱中症予防

- ・雨天時の運動場の使用は体育部職員が判断し、体育委員会の児童に可否を放送させる。

○雨の日の室内的遊び方について

- ・学活(「雨の日の過ごし方」)等で雨の日の正しい過ごし方・してはいけないことを話し合い、児童に考えさせる。

○服装について

- ・標準服及び体育服を着用。シャツを入れる、名札を付ける、上靴を履く等の身だしなみの指導を徹底する。
- ・時と場合に応じた服装ができるように指導する。
①儀式的行事の際には白靴下を着用する。

②季節に応じた服装をする。

(夏)

・登下校時は首を冷やすタオルの着用、日傘の持参を認める。校内では使用しない。飲み物は水、お茶、スポーツドリンク。

(冬)

・ブレザーの下に着るものについては、スクールセーターやトレーナーを着用し、体の大きさにあったものを着用する。

・ブレザーの上に着るものについては、登下校時や外での活動時に防寒着の着用を認める。

※フード付きの防寒着を着用してもよいが、フードをかぶらないことを指導する。理由付けとしては、視界がせまくなる、音が聞こえにくくなるなど、安全上の問題があるため。

※他人のフードを引っ張るなど、危険な行為を絶対にしないよう、指導する。

○頭髪(髪の毛の長さ)について

・後ろ髪が肩につく児童はヘアゴムで結ぶ。前髪が目にかかる児童はピンで留める。

○その他

・教室移動、集会への移動は右側通行、無言、整列を徹底する。

・ランドセルには防犯ブザー以外つけない。お守りはつけてよい。多すぎると紛失やトラブルのきっかけになることを指導する。

・携帯電話、スマートフォンは持ってこない。貴重品であるため、管理が難しい。緊急時は学校の電話を使わせる。

・カッター、彫刻刀、はさみ、コンパス、縫い針などの刃物類は必要なときに持ってこさせる。その場合は担任が預かり、管理する。

・名前の呼び方…あだ名や呼び捨てをしない。くん・さんで相手の名前を呼ぶように指導する。